



Point

除草対策や葉面散布剤の活用で、 高品質な枝豆生産を！

今月
**営
ポイ**



秋田地区営農センター 係長 三浦 雄輝

発芽率向上のポイント

- ・表土の砕土率を高めましょう。
- ・マルチや不織布を使用し、地温を確保しましょう（極早生品種）。
- ・播種深度に注意してください。

昨年はハト被害が多発しました。カイト鷹やテグスなどの活用で、ハトの侵入を防ぎましょう。



雑草対策のポイント

- ・播種前に雑草がある場合は、茎葉処理剤で枯らしてから耕起します。
- ・耕起、播種、土壌処理剤までは、雑草が動く前に行いましょう。
- ・雑草は大きくなる前に中耕で対応してください。



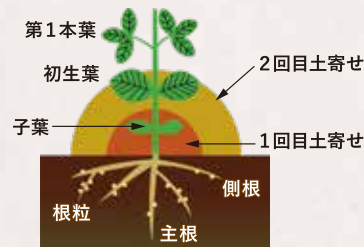
● 除草剤

散布時期	回数	薬剤名	散布量	使用時期	使用方法
播種前	3	バスタ液剤	400～600ml/100l	播種前(雑草生育期)	雑草茎葉散布
播種後	1	ラクサー乳剤		400～600ml/70～150l	播種後出芽前 (雑草出芽前)
	1	プロールプラス乳剤			
生育期	1	ナブ乳剤	150～200ml/100～150l	雑草生育期 イネ科雑草3～5葉期 ただし収穫14日前まで	雑草茎葉散布 または全面散布
	1	ポルトフロアブル	200～300ml/100l	雑草生育期 イネ科雑草の3～8葉期 ただし収穫14日前まで	

● 中耕作業

- 【1回目】本葉2～3葉（子葉が隠れる程度）
- 【2回目】本葉5～7葉（初生葉が隠れる程度）

開花期での中耕作業は、根が傷つき生育抑制や落花・落莢を招く恐れがあるため、作業が遅れないよう注意してください。



葉面散布による生育調整

散布タイミング	期待する効果	使用資材例・希釈倍率
生育初期（開花前）	草丈の伸長	【窒素主体の資材】 OKF1(N:15% P:8% K:17%)・1000倍
開花直前から開花初期	着莢向上、莢肥大	【非窒素系リン酸資材】 トップスコア・リン(N:0% P:28% K:13%)・1000倍 PSダッシュMEネオ(N:0% P:30% K:29%)・1000～2000倍 【植物ホルモン資材】 ハーモザイム(N:1.0% P:0.3% K:2.8%)・1000倍

適期収穫で品質向上

枝豆の収穫適期は2～3日程度しかなく、収穫適期を過ぎると品質が低下してきます。開花期の把握と肥大状況を確認して、適期収穫を心がけましょう。
※開花期…1花でも咲いている株が半分以上となったとき。

開花から収穫までの目安

作型	日数
極早生、早生	31～33日
中早生	34～36日
中生、中晩生	39～41日
晩生	48～51日

※気温や天候により収穫期がずれる場合があります。